

抽水
植物

水面を覆い尽くし流れる切れ藻が 水利施設に押し寄せる

発行／2018年3月 農林水産省農村振興局農村環境課

■ブラジルチドメグサ 特 緊



茎を伸ばしながら広がっている(写真は5月)。



茎の破片から再生した小さな葉
(写真は5月)。



5月に開花していた。

葉:直径3~7cm
柄の部分ハート型にくぼむ。茎は長さ1mにもなる。
花は小さく目立たないが、開花は4月中旬~6月上旬。種子をつける。

このような被害が出ます!!



秋遅く10月頃から冬期にかけて
水門付近に集積し、排水阻害を
引き起こして水が溢れた支線排水路
(写真は12月)。



氾濫!



水門に絡まり水門の開閉障害を引き
起こす(写真は12月)。

通水障害!

水門の管理障害!

幹線用排兼用水路一面に繁茂し、秋から冬の大雨で流され、取水口に詰まって通水障害を引き起こす。水門に挟まったり、水門を覆うことで、水門が開閉できなくなるおそれがある(写真は4月)。

特 (特定外来生物)は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。

緊 (緊急対策外来種)は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種です。

詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

● 生育環境 (どんな場所から増えて行くか！)

根や茎が他の植物等に絡む



● 繁殖方法 (このように増えて行く！)

破片でも種子でも増える



泥の中に残った茎の破片から再生する(写真は12月)。



茎が次々に枝分かかれながら、水中や地中で横に広がる。種子からも増える(写真は5月)。

● 対策(これらについて心得よう！)

- 種子で繁殖するので開花、結実前に除去する。
- 水位が低下すると水底に根を張り除去が困難。水面に浮かんだ状態の時に除去する。
- 土中の茎や種子まで除去するには、表土を15cm程度除去する。
- 切れ藻(茎の破片)からも再生するので、それらもできるだけ回収する。

除去が容易な根を張る前の水面に浮かんだ状態。(写真は12月)



幹線用排水路(クリーク)で、6月～翌年の2月にかけて行われる重機での除去作業。

幹線用排水路(クリーク)で、6月～翌年の2月にかけて、重機が入らない場所で行われる船からの人力での除去作業。



本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768
東北農政局農村環境課 022-221-6256
関東農政局農村環境課 048-740-0514

北陸農政局農村環境課 076-232-4533
東海農政局農村環境課 052-223-4631
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417
九州農政局農村環境課 096-300-6436
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652

農林水産省農村振興局農村環境課 03-3502-6091